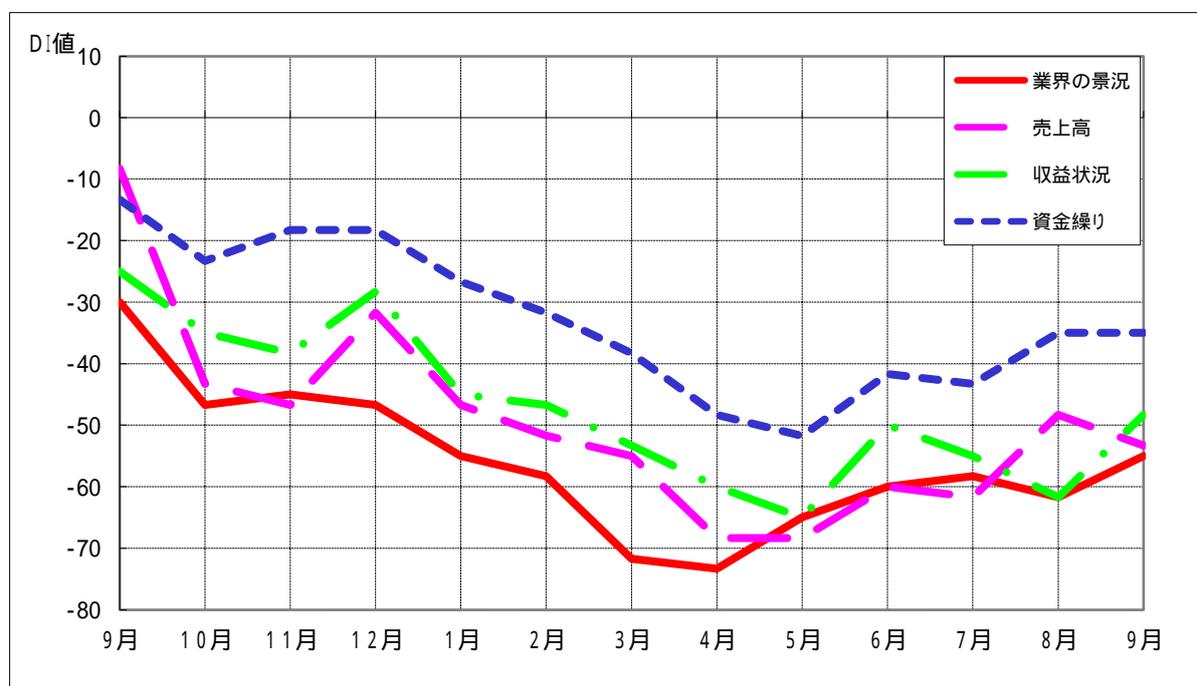


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年9月～令和2年9月

単位:ポイント



	R1				R2								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-30.0	-46.7	-45.0	-46.7	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0
売上高	-8.3	-43.3	-46.7	-31.7	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3
収益状況	-25.0	-35.0	-38.3	-28.3	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3
資金繰り	-13.3	-23.3	-18.3	-18.3	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0

9月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化であった。「収益状況」DI値は13.4ポイント、「業界の景況」DI値は6.7ポイント改善、「資金繰り」DI値不変、「売上高」DI値は5.0ポイント悪化した。

前年同月比でみると11か月連続で全項目悪化しており、「売上高」DI値は45.0ポイント、「業界の景況」DI値は25.0ポイント、「収益状況」DI値は23.3ポイント、「資金繰り」DI値は21.7ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、業種を問わず新型コロナウイルスの影響が報告されているが、同業種でも取引先等の違いによる企業間格差が伺える。回復傾向が見られるものもあるが、前年比5割程度にとどまっているとの報告が目立っている。先行きへの不安感を募らせているが、GoToキャンペーンへ期待をよせる声が多い。

組合からの特記事項としては、製造業では新型コロナウイルスの影響により、受注・価格ともに減少しており、依然として厳しい状況であるとの報告が多い。非製造業において卸売業では9月の天候不順により野菜等の価格上昇があったが、小売業における生活必需品以外の買換需要は低下しているようだ。

商店街ではGoTo事業や自治体の助成金を活用し、消費喚起を行い売上の増加に期待を寄せている。建設業においては、後期に工事が集中し人材不足に拍車がかかっているとの声がある。

今後の市況の悪化に備え、セーフティーネットの確保、各種助成金、減税対策の緊急対応期間の更なる延長や各種GoToキャンペーン制度のわかりやすい説明が要望としてあがっている。